

# かえる便り 27年度19号

平成27年10月1日

仲秋の候、皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

過去（歴史や勝負）に“もし、〇〇”はないけれど、“もし”あの時・あの人がなどを考えると、面白いと思いませんか？ 例えば、約140年前、日本に近代化・西洋化の波を起こした薩長を中心とする倒幕派が佐幕派に勝利しなかったら…、また、佐幕派の〇〇が倒幕派にいたとしたら、どうなっていたらだろうか？

新撰組 に対する私の印象は、日本の近代化を阻止する“嫌いな集団”として捉えていましたが、一方では『任務に対して忠実で責任ある仕事をする集団』だとも思っていました。副隊長の土方歳三は 隊の秩序を維持するために規律を厳正に遵守させることで有名でした。 我この柵にありて、退く者を斬る！

戦いに勝利し皆が浮かれている時でも、土方だけは冷静に状況を分析し次の策を考えていたと言われています。“情の欠片が全くない”と思われるような土方ですが、人をよく観察し人心を巧みに掴む名人でもあったようです。一人間としての 土方歳三に魅力を感じます。



急斜面でバランスを崩したり、人に押されたら、自分の意思に関係なく転がります。しかし、急坂を上ることは、凄いい力で引っ張らない限り他力では無理です。高める（上る）ことは、自分の意志が凄く重要なのです。高めるための素晴らしい材料があったとしても、最後は自分の意志しかないと思いますよ！卒業後出来ることを、今やるから伸びない。今を真剣に大切に生きていれば、違う行動をとる！！

佐幕派も倒幕派も基本的な考えは同じで、“この国を守ろう”としていたのです。しかし、考えや方法が違っていたから、争いになったのですね！ 自分に厳しく、冷静で仕事ができ、男気ある“土方歳三”が倒幕派にいたとしたらどうでしょうか？

彼の 心（考え・意識・思い）が違ってれば 友や仲間が違い 行動が変わっていたと思います。そうすると、彼の運命は全く違ったものになり、新政府の要職についた かも 知れないですね！ 考え方や友により、人の運命は大きく変わります。取り返せる“もし〇〇”もあれば、取り返せない“もし”が多くあることを認識して日々行動したいものですね！ サッカーは仲間と協力しないと目的を達成することは出来ません。本当に自分達の目的を達成したいのであれば、友を選ぶことが重要です！高校3年間の“もし〇〇”は取り返せないと思いますよ！